

『2026年度版 サステナビリティ・オフィサー試験問題集』正誤表

2026年6月15日

該当箇所	誤	正
xi ページ 目次	4-5 企業活動とSDGs目標をリンクさせる対話	4-5 企業活動と 環境経営 をリンクさせる対話
56ページ 解説と解答①②	<p>①適切である。IFRS S 2 号では、気候関連の物理的リスクには、急性の物理的リスクと慢性の物理的リスクがあると定義している。さらに、急性の物理的リスクは、極端な気温変化、降雨などの事象によって生じると考えられるもの、慢性の物理的リスクは、平均気温の上昇、降雨パターンの変化、海面の上昇など、より長期的な要因から生じると考えられるものと説明している。</p> <p>②不適切である。IFRS S 2 号では、気候関連のリスクを大きく物理的リスクと移行リスクに分類している。さらに、移行リスクには、政策、法律、技術、市場およびレピュテーション・リスクが含まれる、と定義している。</p>	<p>①不適切である。IFRS S 2 号では、気候関連のリスクを大きく物理的リスクと移行リスクに分類している。さらに、移行リスクには、政策、法律、技術、市場およびレピュテーション・リスクが含まれる、と定義している。</p> <p>②適切である。IFRS S 2 号では、気候関連の物理的リスクには、急性の物理的リスクと慢性の物理的リスクがあると定義している。さらに、急性の物理的リスクは、極端な気温変化、降雨などの事象によって生じると考えられるもの、慢性の物理的リスクは、平均気温の上昇、降雨パターンの変化、海面の上昇など、より長期的な要因から生じると考えられるものと説明している。</p>

以上